

平成30年第13回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成30年12月18日（火曜日） 午後1時43分から3時36分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・神山好子・井上三枝
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第12号、議案第41、42号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

報告第12号 専決処理について

原案どおり承認

議案第41号 市長の権限に属する事務の補助執行に係る協議について

原案どおり可決

議案第42号 平成31年度日高市教育委員会事業等の予算要求について

原案どおり可決

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 校長・教頭試験の結果について、前回は3人受験し合格が1人で、今回は4人が受験し合格が1人であるが、不合格の方が不足している部分は何か。昔より倍率が低い中で、あまり良い合格率とは言えないので、何が足りなくて合格し

ないのか。

(教育長) 教頭試験は倍率が下がっているが、校長試験は、大きく倍率は変わっていない。

(委員) 数年前と比べても明らかに合格者が少なくなっている。本人の資質を考えずに受験対象者であるからというだけで、受験させているのではないか。

(教育部参事) 選考に関しては、県で実施しているので把握できる部分ではないが、教頭としてきちんと仕事はしている方であるが、受験する年齢、タイミングなど様々な要素が絡んでくるものであり、業務とは違う部分での評価もあるのではないか。昇進後を見据えた部分での評価もしているので、教頭としての業務をこなしているだけでは見えない部分もある。

(委員) 論文と面接か。

(教育部参事) 校長試験については、筆記試験はなく論文と面接が2回である。

(委員) 県全体の合格率は。

(教育部参事) 集計結果については、まだ公表されていない。

(委員) 教頭の業務内容については、学校で見る限り、教員の業務というよりは、本来の教育業務とは離れた渉外担当のような業務をしているように見えて可哀想な部分も感じられる。

(教育長) 個人的な主観であるが、若い時期での論文については、その立場における論文に陥りやすいものである。すなわち、校長試験での論文であるのに教頭の立場での論文となってしまう、その先を見据えた校長としての論文になっていないということも考えられる。

(委員) 受験する方の向き・不向きではなく、必ずしも全員が校長・教頭になりたくて受験している方だけではないのでは。無理に対象者だから受けさせている部分はないのか。実際の業務が教員としての業務から離れた渉外などの業務の部分が目につくので、昇進にやりがいを感じられていない部分があるのではないか。対象者については、組織がその部分も感じて見てあげないといけないのではないかという意見である。

(委員) 武蔵台公民館の歴史講座について、講師はどのような方か。

(生涯学習課長) 元高校教諭である。

(委員) 議会の一般質問の関係で、学校運営協議会委員の身分、報酬とあるが、報酬は発生するのか。

(教育部参事) 金額は検討中であるが、報酬は生じる。

(委員) 議会の一般質問の関係で、小中学生に対するスマートフォン教育について、スマートフォンを使った教育の話か、スマートフォンの利用に関しての教育の話かどちらの内容であるか。

(教育部参事) 質問の主旨は、大阪府での地震が登下校時に発生したことを受けて、子どもたちと連絡が取れなかったことによって、登下校時にスマートフォンを持

たせてほしいという要望があり、校内への持ち込みを検討しているところで、日高市ではどのような考えかというものである。登下校時の安全確保の意味合いである。

(委員) 議会の一般質問の関係で、登下校時の子どもの荷物の重さについて、昔よりも重くなったのか。

(委員2) 教科書の紙の材質が変わっており、かなり重くなっている。

(教育部参事) 昔は、教科書検定制度の中で材質など指定されていたが、今は出版業者の自由であり、見栄えを良くするためカラーにするなどと併せて教科書の大型化が進んでいるため重くなっている。

(委員) 健康面の心配についての質問の主旨は、重いものを持つことによる姿勢のことを言っているのか。

(委員3) 腰痛のことであった。

(委員) 中学生が持っているリュックについて、肩紐を伸ばした状態で背負っていれば、たとえ軽くても腰痛になる。

(委員2) リュックではなく、肩掛けバッグとなっているが、片側に荷重がかかってしまうため、本来の使い方ではないと思うが、リュックのように背負っている。自転車通学の子はカゴなどがあるので問題ないが、徒歩の子は大変で、肩こりなどで苦しんでいる状況である。

(教育部参事) 教科書を置いて帰ってよいという通知が出たので、小学校などで対応している状況であり、かなり楽になったという感想は聞いている。

(教育長) 昔は、生徒指導上で学校において帰るなどしていたが、最近は、このような状況になっているので、生徒指導上ではなく、必要なものは必要な時に持ってくるという原則になった。

(委員) 議会の一般質問の関係で、移動図書館車について、運転は誰がしているのか。

(教育部長) 委託業者である。

(委員) 委託業者は、図書のことの方が分かる方か。

(教育部長) 図書の説明が出来るような職員が同乗している。

(委員) 勸奨退職者が4名ということで、多いと感じるが、何か特別な事由があったのか。

(学校教育課長) 概ね58歳以上の方で、今後新たにやりたいことを考えているところで、定年を前に退職に踏み切ったものであると聞いている。

(委員) 学校が大変だからやめたのではないかと推察したものである。

(教育部参事) 家庭で子どもが卒業したタイミングであるとか、介護であるとか様々な理由によるもので、負担が大きいからということではないと考える。

【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 授業研究について、教師の指導力向上のためには、市や県の研修会への参加などは確かに必要であるが、例えば、学校区や教科ごとに少数で、ある程度の責任を持たせたいという自主的な研修を促すことも重要である。受け身の研修では、工夫もでないし、何も生まれるものがない。

(教育長) 受け身ということについては、まさにそのとおりである。教育研究会において、1つの教科で12校の教員が集まって自主的に実施しているが、そういう機会を大切にしてほしい。

(委員) 12校では多すぎる。少人数に絞ったほうが効果的である。そのように進めた研修で生まれた取り組みなどは、その参加者に権限を与えて実施させるようにすれば、責任感や自主性が培われることとなる。

(教育部参事) 西部地区学力向上のための授業研究会を高萩中学校にて、西部地区の教員が集まって実施したが、一番勉強になるのが授業をすることである。テーマは与えられたものであるが、そのテーマに沿って、どのように授業をするかであるとか、それらを参加者で考えて代表者が授業をしていくものである。権限の話でいくと、授業は教員にかなりの権限を与えられており、年間のカリキュラムの中で、どのように指導していくかというのは、どんどん挑戦できる部分であるので、もっと積極的に取り組んでもらいたいと考えている。そういう情報交換の場として教育研究会があると考えている。

(委員) 研究会も大事であるが、学校単位で実施するなど機動力も大事であると考ええる。自主性に任せることで責任感が出てくるものである。

(委員) 人権啓発講演会で、小児がんの話があったようであるが、小児がんの問題というのが非常に問題で、抗がん剤が良く効くので治療率が上がっているところであるが、治療期間が長くなってしまいうので、義務教育期間は問題がないかもしれないが、高校などへの進学や進級の際に、単位が取れなくて退学となってしまうなどの問題が生じる可能性がある。小中学校の段階で想定しておいてほしい。

(教育長) 院内学級があるので、医師に聞いてみたことがあるが、生存率は上がっているとのことであった。中学生のケア等も含めて、県にも伝えていきたい。

(委員) 小中学校未来構想について、幼保連携が重要であるが、幼稚園・保育園への説明はどのような状況か。

(教育部参事) 具体的な説明については、まだ出来ていない。来年から、市立保育所が中心となるが、合同の研修会を予定しており、そこに幼稚園の先生も参加いただく考えである。これをきっかけに地区だけの連携から市全体での連携に転換できればと考えている。

(委員) ツーデーウオークの中学生ボランティアの服装について、学校のジャージなどの軽装の生徒がいて、日陰などで寒そうにしていた。カイロなど支給しても良いのではないか。

(学校教育課長) 校外活動の際に、部活動と同様な服装をすることが定番となっており、ジャージや部活動によってはウインドブレーカーがあるので、それを着たりしている。

(教育長) 来年度は事前に指導をして、防寒対策の服装となるようにしたい。

(委員2) 中学生ボランティアは何人参加しているのか。

(学校教育課長) 250人程度参加している。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第12号について (非公開)

特になし。

議案第41号について

(委員) テニスコートの利用案内で、本人が直接申込をするようにと記載されているが、家族など別の人の申し込みは出来ないのか。

(生涯学習課長) まだ、実施内容について詰めているところであるが、利用案内については、現在の実施方法に合わせたものである。利用しやすい方法を模索していく。

議案第42号について

(委員) 主要事業の予算要求状況は、増額になっているが、全体の総額は減額になっている。大きな減額理由は何か。

(生涯学習課長) 北平沢運動場維持管理事業において、グラウンド整備に係る事業費が減額となったものである。

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○1月定例会：1月24日(木曜日)午後2時00分から 委員了承

○2月定例会：2月19日(火曜日)午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○平成31年日高市成人式

1月13日(日曜日)午前11時開式(ひだかアリーナ)

○入間・比企地区合同教育長・教育委員研修会

1月18日(金曜日)【坂戸グランドホテル】